



天空ブランコ



弓矢による四方固め

弓立山はその昔、臥龍山または龍神山(※読み方については諸説あり)と呼ばれ、平安時代中期の武将、源経基が都幾山慈光寺の観音様に念願して、破邪・降魔の呪力を確認し、調伏させ、悪いものを入らないようにする、臺目の法という四方に矢を放つ儀式を行ったとされています。その際に、矢が落ちた場所は現在では矢の付く地名となっており、ときがわ町では西平にある矢所がその場所となっています。この、弓で矢を放つ儀式が行われたことから、弓立山と呼ばれるようになったとされています。



Toby Sound Lab



ウタレレ教室

6月1日(日)、弓立山山頂にて「ゆみたてやままつり」が開催されました。標高426mと低山でありながら、関東平野や奥武蔵の山並みを一望できる弓立山。その魅力をもとに、町商工観光課、大附地区の有志、観光協会の共催により、開催されました。

当日は、弓立山の名前の由来といわれている弓矢による四方固めが披露され、観客から歓声があがり、絶景が望める展望デッキでは、地元で活動中のグループによる演奏会が行われ、壮大な景色に素晴らしい演奏が響き渡りました。また、当日限定で天空ブランコが設置され、子供はもちろんのこと、大人のみなさんも童心に帰って楽しんでいました。

心配された天候は、雲が多かったものの、前日降った雨のおかげで空気が澄み渡り、都心の高層ビル群まで見ることができました。この素晴らしい景色を眺めながら、昼食をとったり、コーヒーを飲んだりしながら登山の疲れを癒している来場者の姿が印象的なイベントとなりました。

空へこぎだせ
1歩先の絶景へ――。